とある年の差カップルの三田さんと浦林くん　2話
～二人の打ち合わせ事情編～

ザァァ
ザー
ザワ
ザワ
ピポーン
はーいただいまー
ザワ
フー

今日は天気が悪いのに外に出てきてもらってすみません
ウェブ通話でもいいかとも思ったんですが
いや私は古い人間なんでね
直接話せる方がイメージが掴めて助かるよ

では早速仕事の話なんですが
新商品を含めてのカタログのデザインをお願いしたくてですね…

しかし公私の線引きはしっかりしなくては

そちらの資料見て頂いて…

観光土産物販売会社
企画開発室
浦林一則(うらばやしかずのり)くん　２０代

昨年仕事を通じて知り合い恋人になった浦林くん…

…の会社からは現在も継続して依頼があり…

パラ…

グラフィックデザイナー
三田義明(みたよしあき)　50代

担当の浦林くんとプライベート以外でも会えるのは嬉しいが…

こんな関係ゆえやり辛いと思われてはいやだからな…

「アチッ」

ズズ…

ただでさえ年が離れていて気も使うだろうに

浦林くんが問題なく仕事に打ち込めるよう私も努力せねば

じ…

とはいえ…

浦林くんの初々しい反応を見ると年も忘れて浮足立ってしまい…

ぽっ…

ぽっこり

嬉しい…

もっと構いたくなってしまうのだなぁ…

ちょっとだけ…

どきっ

びく

あっ…あの―そうだ

ガサッ

新商品のサンプルですが―

あっ…わ…

ばりっ

おっと…

いかん年上の私の方が浮かれてしまって迷惑を…

ガタ…

この真面目な若い恋人を見習わねばならん…

な…

日の入りたまご

ドックン

しっ…
失礼
しました…

ギュ

ドックン

…
今のは…

ドックン

ず、ずいぶん
浦林くんの
浦林くんが
くっきりして
いたような…

最近の若い人は
ピタピタのズボン
を履いているから
かねぇ…

え…

ズズ。

ピチ

ピチ

あ、いやなに…
少しその…
君のズボン…？
窮屈…だったり
しないのかなと
思っただけだが
…

どき

どき

あ…
あ…の
…

ああいや、
気にしないで
…

…っす

すっ…

ゲ

すみません
…っ！

DRINK BAR
JUICE
COFFEE
SOUP
TEA
ガラガラ
ガヤ
ノーパン…で
来て…ます……
今日…僕…のっ…
ガヤ
アハハハ
カチャカチャ
ノーパン…？
今…気付いてしまったかと思って…
ドキ
ドキ
どっくん
ノーパン…？なぜ…
若い人の流行りだろうか…？
ドキッ
ドキッ
どっくん
どっくん
ぷっ
ぐっ
なら理解を示さなくては
そういえば…私の友人にも健康に良いと就寝時には脱いで寝る者がいるよ
君のも最近の新しい健康法なのかな？
ぶふ…
実際どんなあんばいなんだね
どきっ
過ごしやすいのかな？
どきっ

…それって…意地悪で言っていますか…？

…今日は三田さんと打ち合わせでお会いできるって思ったら…

ん？

少しでも三田さんを感じたくてたまらなくなって…

とっくん

ただ…それだけのために…

とっくん

会う前にトイレで下着を脱いできてしまいました

どっ…

し…仕事で来て頂いてるのに

依頼している側がこんな気持ちで…こんな状態で迎えて…

ピクッ

ピクン

どっくん

失礼ですよね…

僕…

どっくん

ごくっ

な…っ

どっくん

なんとハレンチな…！

ムク…

ムクッ

ブブブブブ…

正直…あの「モッコリ」を見た時に情欲をかきたてられた私がいたが…

い…いま鞄の中には脱ぎたての下着があるのか…？

ドックン

ググ…

ドックン

ほか…

仕事中だしそんなこと意識して困らせてはならぬと無理やり「若者の健康法」と思い込もうとし平常心を保とうとしたのに…！

まさか仕事中にエッチな気持ちになる…そのためだけに…ノーパンで来たなどと…

ハア…

ハア…

ドックン

あ…あの…

お…

怒って…ますか…？

浦林くん…キ、キミは普段は真面目な顔してちょっぴり刺激的な性癖を持っているのを忘れていた…！

ドックン

ぐっ

※三田さんはサンタコスプレイのことを思い出している

ギュッ
びくっ
困った青年だな…君は…
仕事に私情を挟まれては私もやり辛くなるだろう…
びくっ…
ドックン
びくっ
ドックン
びくん
グリ
若者の冒険心はどう暴走するか分からぬ…ここは年配の私が浦林くんの衝動を導いてやらねば…
ギュッ
ビクッ
ギュ
その線引きができなくなる程、欲求を持て余しているのかね
ゾク…
ハァ
ゾク…
ハァ
…
は…はい…
ピク
ピクッ
ぞく
ぞく
ビクッ
グリ
グリ
自分一人では…処理…しきれなくて…

ドキッ
ぐっ
ガパッ
まったく情けない
浦林くん…
ブー…
君はもう少し自制心を持つべきだな
す…
真っ赤になって…
でないと自分が困ることになるのだよ
こんなところで外を歩けない状態になるかもしれないだろう？
ん？
ビクッ
ぐに
ぐにっ
ビクン…
…っ
なんて可愛いんだ…

ともかく仕事の話をしようか
コス
コス
ビクッ
ビクッ
っ…ぁ…でも…
コリ
コリ
コリ
ビクッ
ビク…
いいから耐えなさい
ハァ
ハァッ
はい…
2104円になりまーす
ポッ
ポッ
ザワ
ザワ
カチャ
それで…
このBの資料についてはこれで…
アハハ
ハァ
ハァ
びく
あとこの5点のロゴは入れて欲しく…っ…て
ビクッ
ビクッ
スリ…
スリ…
ゾクゾクゾク
クリ
クリ
じわ…
…っ…
うっ…

なるほど
ではそこは前回制作した時と同じと…

DRINK BAR

ハァ
ハァ

は…はい…

ビク
クニ
ん…っ

ギュッ
グリ

ぐリ
ぐっ
ビクッ
ビクッ
スリ
スリ…
ゾクゾクッ

ハァ
ハァ
み…っ
三田…さん…

そろそろ限界か…

くちゅう…
じわ…
ぴく
ぴく
グッ
グッ

そうだ君…

やはり前回貰った資料も見ながら相談したい

ここから近い仕事場にあるから来てくれないか

ガタン

フル
フル

ハァ
ハァ

え、ええ…

浦林くん…もうあんなに染みが…

な…なんでそそるんだ…

ゴクッ

さっ

ぴくん
ぴくん

ガタ

外は雨だし、タクシーで行こう

ザー
ザー

A町2丁目公園裏のマンションまで
ザー
ザー
はい
いやぁ今日はヤなお天気ですね
バタン
いやはやまったく
ピク
フー
ピクッ
フーッ
ギシ
…
しばらく続くみたいですよ～雨
それは参りましたな
ブオ
オ
オ
フゥッ
雨が降ると服が汚れる上…
フッ
ピク
ピクンッ
ギュ…
くに
くに
クチュ
クチ…
ビクッ
ビクンッ
ぷちゅ
くちゅ
カリ
カリ
スリ
ゾクゾクゾク
靴の中もすぐグチョグチョに濡れてしまいますのでな
ハッ
ハァッ
ハァ
まったくで

はは
私なんか替えの靴下がすぐなくなってしまいます
濡れてるのがどうも我慢できなくってねぇ
ハァッ
グル
ハッ
グル
ふー…
ふー!
びくっ
しゅっ
しゅっ
びくん
ええ分かります
ああ…浦林くん…
そんな切ない顔を見ると…

冒険してしまう…っ
ハァッ
びくっ
…っ
ドッ
ドッ
むぁ…っ
ビッ
ビッ
ビッ
びくん
ジィィ…
ぱんぱんっ
あ…っ
あ…!

そちらの方大丈夫で？
っ…
ああ少し体調を崩したようで…
雨に濡れて体が冷えてしまったんだろう？
うちで着替えていったらいい
君もそのままじゃあ我慢できないだろう…
は…っ
はい…我慢…できま…せんっ
ドクッ
ドクッ
ドクッ

ザアアア
ガチャッ
ハァッ
ポタ
ポタ
ハァッ
バタン
シュ
クチュ
フッ
フーッ
なんて…いけない子なんだね君は…
ドサ
ズボンを下ろしてお尻をこっちに向けなさい
カチャ
カチャ
ズるっ
ハー
ハー
はっ
はい…
ギシ
ブル
三田さん…
はぁっ…
ドッ
ドッ
ハー
ハー
はぁっ
そうだ…今お仕置きをしてやるからな…
ブル
ブル
ブル
タラ
タラ

ばッ
ビキ
ビキ
もうたまらん…！
すぐ挿れたいっ…
ズッ
ズッ
ピチャ
ふんッ…
ズ
ズ
あ♡…っ
ビクッ
ビクン
あ…
ミチチ…
はっ…
ほぅお…ッ♥
ビク
ビク
ここまで興奮しすぎたせいで…っもう出るッー
ま…まずい…っ
ドュ…
おひゅ…っ♡

うッ
浦林くんッ…
い…
イクッ…
お…ッ
おぉ…ッ
あっ♡
あっ
みっ
三重さの
せくしっ…♡
おっ…♡
ぶぴゅる
きゃんきゃん
な…
なんてことだ…
ビュルルン
ブピッ
ビキ
ハーッ
…いや…っ
ハーッ
まだ
イケる…！
ビキ

ふんッ…！

まだこんなものでは勘弁しないからな…ッ

ぐぽっ♡

ぐぽっ♡

浦林くん…！

ふんッ

あッ♡

あ♡

…はい…っ

もっと…もっと叱って下さい〜っ…

何を甘い声を出しとるのだキミは…っ！

愛撫もなく挿入されてるのにこんなにヨガり汁垂らしおって―ッ

ずぽッ

んふッ♡

ひッ♡

あぁッ♡

打ち合わせも中途半端なまま…

それもこれもキミがノーパンで来たためッ

きちんと反省をせんかッ

あッ あぁッ

はい…ッ ご…ごめんなさい あぁあ…ッ

業務中にはしたないことして…すみませんっ

はしたないどころじゃないだろうッ

カフェでスーツに染みを作って…

タクシーの中で濃厚な精を吐き出して…

仕事相手の部屋でチンポハメられて…ッ

キミは淫乱発情会社員なのかッ

あ…あぁっ…！

僕はっ年中発情淫乱リーマンですぅ…っうぅ〜〜〜〜ッ…

どちゅ

ごぷ

ぐぽ

ぶちゅ

ごめんなさい…ッ

そうだッ言えッもっと！

会社の業務時間中に仕事相手を煽って…ッ

ずっ

ずっ

ビク

ビク

ハァッ

ハァッ

バキバキのチンポでアナル責めてもらうダメな会社員です…っうぅ〜〜〜〜ッ

そうだキミは悪い子だ…っ

ズ

ズ

フッ

フッ

悪い子にはお仕置きザーメン出すぞッ!!

浦林くん…！

ああッ

出るッ

出るッッ!!!

パン

パン

パン

パン

ギシ

ギシ

ひ

ああ

なんて可愛いんだ…！

浦林くんッ…！

ぐぽ

ぐぽ

ビクッ

ぐぐっ
あぁっ
あぁっ
ぐぐっ
ぐぐっ
ぐぐっ
ぐぐっ
ドクドクドクドク
ビュルルル

パァァ…
チチチ
ピチ

ほうら
あった
あった

君が前に
ここに泊まって
いった時に
置いていった
スーツ
ホカ
ホカ
シャワーあびた
ふふ
ズボン
汚れちゃった
からね
これに着替えて
戻りたまえ
クリーニングも
済んであるよ

すみません
三田さん…
今日は僕の
せいで
打ち合わせが
…
あとで改めて
通話で…
フキ
フキ
いやいや

君が
可愛すぎて
止まれなかった
私の未熟さの
せいだよ

年甲斐も無いね

ふっ…

君のそばで自分を律するのはまだまだ難しいようだ

三田さん…

ぎゅっ

若い人の感性には驚くことも多いが…

嫌われてなくて良かったです…

なにを言ってるんだもちろん好き…いやー

大好きだよ♡

ちゅ♡

ちゅ♡

そのたびに…意外と自分もまだまだ枯れきらないのだなぁと感じる日々である…

LOVE